

Press Release
報道関係者各位

2022年1月6日
株式会社マリエ

日本の伝統や文化が再評価 和婚が人気 花嫁から絶賛 予約1年待ちの婚礼和装のスペシャリスト 長谷川清美 美容師を目指す学生、若手美容師らが「神業」と絶賛

美容をワンストップで叶えるトータルビューティープロデュースを展開する株式会社マリエ（本社：愛知県名古屋市）の代表 長谷川清美は、パリコレ、エミー賞レッドカーペットから1人の女性のウェディングまでサロンワークも冠婚葬祭もおこなえる第一線で活躍している美容師です。長谷川がおこなう和装のヘアメイクは花嫁からの評価が高く、結婚式をはじめ、お宮参り、七五三、成人式、卒業式などの和装のオーダーが殺到しており、指名予約は1年待ちとなっています。

昨今、コロナ禍では結婚式をたくても迷っているカップルが、写真だけでも残しておきたいとフォトウェディングが増加。特にフォトウェディングではドレスではなくお気に入りの洋服で撮影したり、自然体のふたりのフォトウェディングだったり個性を求められています。そのような中で、最近見直されている日本の伝統や文化の広まりから和装を取り入れた結婚式スタイルに注目が集まっています。

また、昨今の和婚ブームでは「特別な式だからこそ、かつらではなく自分の髪の毛で結いたい」というニーズもあり、地毛で結う日本髪が花嫁から求められています。

今回、結婚式の和婚スタイルが注目されている中で、美容師を目指す学生、若手美容師らが神業と絶賛する長谷川清美の婚礼和装の凄腕を紹介いたします。



■ 美容師を目指す学生、若手美容師らが絶賛する「神業」ポイント

伝統的で代表的な日本髪の髪型 文金高島田は 15 分

花嫁の伝統的な髪型である文金高島田（ぶんきんたかしまだ）は、通常30分はかかりますが長谷川清美はたった15分で完成。髪長さも肩甲骨の下まで髪があれば、長谷川ならば地毛で結うことも可能。



お色直しで和髪スタイルから和髪スタイルも 10 分

のクイックチェンジ

文金高島田（ぶんきんたかしまだ）から和髪のダウスタイルに変更も通常40分程かかるものを長谷川清美は10分程で完成へ。



長谷川清美ができる理由としては、自身の20代～30代頃は日本の伝統的な結婚式が盛んだった時代背景もあり、**婚礼和装の圧倒的な経験値と当日の婚礼進行での先を読む力**を備えている点です。婚礼では、ヘアメイク・着付けにかかる時間が当日の婚礼の運営にも大きな影響を伴います。多くの美容師はウェディングドレスにあわせたヘアメイクの経験があっても、現在、花嫁からのニーズの高い古典的な和髪スタイルの経験値が圧倒的に少ないため時間がかかる傾向です。また、美容師の多くは婚礼における美容業務をヘアメイクのみで考えており、美容業界全体で婚礼における技術力と美容師の婚礼に対する向き合い方の学びが伴っていない課題があります。

■長谷川清美ができる理由「美容師が挙式のカギを握る」

①7つのスキル

長谷川清美はサロンでのヘアメイク以外にも挙式のヘアメイク、ウェディングプランナー、チャペルコーディネーター、日本礼道古流 礼儀作法小笠原流師範、講演家、経営コンサルタントなど7つのスキルを掛けあわせて、カプルの理想の挙式づくりに取り組んでいます。

特に、桂由美の一般社団法人全日本ブライダル協会においてウェディングプランナーのライセンスの取得をしたことで、カットやパーマなどのサロンワークで必要な美容の技術と、和装、洋装、ブライダルヘアメイク、着付けなど婚礼ワークに必要な技術を持ち活躍しています。

②美容師としての立ち位置

挙式の準備期間では、美容師は事前ヒアリングとリハーサルの2回を実施して当日の挙式を迎えます。日頃の挙式案件数に追われ、美容師もウェディングプランナーも打ち合わせ回数を最小限で実施している中で長谷川清美は「現場が作業と捉えて挙式づくりにかかわっている」ことに課題を感じていました。

挙式では美容師は何よりも新郎・新婦が持つオーラを引き出すことが大切と捉え、長谷川清美は挙式4カ月前にカウンセリングを設け、ヘアメイク

の点から花嫁の挙式の好みをいち早く把握して理想の結婚式の準備をサポート。また、ウェディングプランナーに代わり挙式に関する質問や不安な点なども聞いてアドバイスもしていきます。ヘアメイクのリハーサルもイメージ確認で終わるのではなく、その後も挙式までの期間、最大限にオーラを放つヘアメイクを常に考え、当日はリハーサルよりも良いヘアメイクを創り出すようにしています。

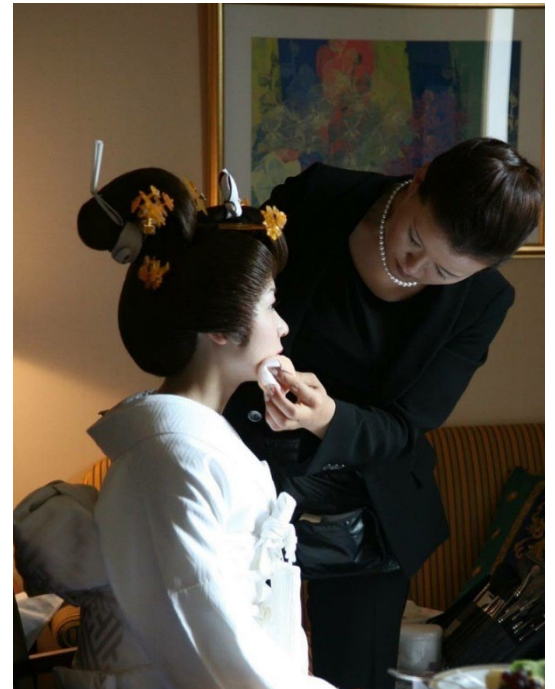
結婚式は新郎・新婦にとって生涯に一度の大切な日です。挙式当日、美容師は何よりも新郎・新婦に「自分たちは綺麗、輝いている」という自信を持たせること・導くことが大切です。その気持ちがあることで新郎・新婦はオーラを放ち、挙式では最高の輝きでのぞむことができ、映像や写真等にもその姿を残すことができます。

一方、お色直しなどの時間を短縮できれば、主役となる新郎・新婦の大切な日を表舞台で過ごす時間を多く取ることが可能です。また、裏を携わる挙式運営のスタッフにもお色直しの支度に時間がかからなくなることで、スムーズな接客や進行をおこなうことができます。

■美容業界の課題

時代の変化「何でもできる本来の美容師」を育てる教育が足りてない！？

美容師は、カット、セット、メイク、着付け、ネイルなどこうした技術をすべて習得して「美容師」といわれていましたが、時代の変化とともに、現在ではヘアースタylist、ネイルリスト、エステティシャンなどの分業化が主流となっています。分業化も後押しして美容業の新規参入も増え、美容師が条件面を見て働く場を探す傾向が高まり、美容施設によっては美容師に必要な技術力、提案力、カウンセリング、コミュニケーション能力が育まれないリスクが高まっています。一方、美容専門学校では、技術の学習に追われ、何でもできる本来の美容師を育てる教育ができていない状況です。



【出前授業を定期的開催】

長谷川清美は長年の経験とノウハウをいかし、次世代に担う美容師を育てるために日頃から社内だけでなく、現役の美容師から美容専門学校に通う学生まで、美容業に携わる方々に向けて特別講座の開催や講座の動画配信などに積極的に取り組んでいます。

美容専門学校の出前授業では、在学中の1年生・2年生を対象に、現役美容師の働き方の現状や課題、そして昔の美容師では当たり前であったサロンワークと婚礼ワークの二刀流の働き方などを紹介します。サロンワーク・Yumi Katsura コレクションヘアメイク着付・ミスコンヘアメイク・コマーシャル撮影・冠婚葬祭「お宮参り、七五三、成人式、卒業式、結婚式」と何でも知っている、何でもできる本来の美容師の姿を自ら体現する当社代表の長谷川清美より実体験エピソードを交えながら、若い世代に「何でもできる本来の美容師」の大切さを伝えていきます。

《2022年11月9日開催の出前授業より》グラムール美容専門学校の学生からの感想

話を聞いて感動した。何ができていればいいのかわからず、何をすればいいかわからず悩んでいた。日本髪は苦手だった。どうやってもブライダルのヘアメイクをやる上では絶対にできたほうがいい技術だというのはわかってはいたが一旦辞めてしまった。話を聞いて苦手なことほど向き合おうと考え直せた。

**◆長谷川清美について**

株式会社マリエ 代表取締役

合同会社 KIYOMI 代表取締役

一般社団法人 Mariage Grande Academia 理事 全日本ブライダル東海支部支部長

一般社団法人全日本ブライダル協会 理事

<プロフィール>

山梨県で美容師としてスタート。20代で横浜の経営コンサルタントの会社にヘッドハンティングされ入社する。ビジネスマナー、接客マナーのインストラクターとして全国規模でセミナーを開催。斬新なサロン経営手法が脚光を浴び、マスコミに取り上げられる。フランス・パリのヴァンクリーフ、カルティエ、シャネルなどのジュエリーデザイナーとのコラボレーションにより、オリジナルアクセサリーの企画立案、営業、販売を手がける。サロン経営とともに、桂由美の全日本ブライダル協会においてウェディングプランナーのライセンスを取得。ヘアメイクのプロ集団「ヘアメイク KIYOMI」主宰として活躍。藤原紀香・益若つばさ・阿部力・安藤美姫・道端アンジェリカ、その他多数の芸能人を担当。パリコレクションなどの海外コレクションやミスユニバースのヘアメイクを数多く経験。

また、マイケルジャクソンの「スリラー」のヘアメイクで知られる徳永優子氏を師事し、エミー賞レッドカーペットを徳永氏と共に踏み、アメリカのテレビ業界関係者との交流も深める。

2003年株式会社マリエの共同経営者となる長谷川秀二との結婚により名古屋に拠点を移す。桂由美の一般社団法人全日本ブライダル協会においてウェディングプランナーのライセンスを取得。

現在、美容師はサロンワークかウェディングのどちらかしかできないということが当たり前になり、一生の仕事と思われていた美容師が年齢が高くなると独立以外に自立できなくなっていることに強い危機感を感じ、本来の美容師の姿であるサロンワークも冠婚葬祭もプロフェッショナルとなる美容師の育成に奮闘している。



<長谷川清美 7つのスキル>

長谷川清美はサロンワーク、婚礼ワークなどの美容師だけではなく、様々な顔を持ち美容業界の一線で活躍しています。

① サロンワーク

一般客からパリコレ、エミー賞レッドカーペットまで幅広いフィールドで活躍。藤原紀香・益若つばさ・阿部力・安藤美姫・道端アンジェリカ、その他多数の芸能人を担当。パリコレクションなどの海外コレクションやミスユニバースのヘアメイクを数多く経験。

② 婚礼ワーク

挙式のヘアメイク・着付けなど、一般から著名人までの国内外のウェディングで活躍。

婚礼和装のスペシャリストとして、結婚式、お宮参り、七五三、成人式、卒業式などの和装のオーダーが殺到。指名予約は1年待ち。

③ ウェディングプランナー

桂由美が会長 代表理事を努める一般社団法人全日本ブライダル協会にて取得。現在、理事として就任。

④ チャペルコーディネーター

日本におけるウェディングプランナーの第一人者である阿部トシ子の元でノウハウを取得。日本では意識の低い宗教に基づく挙式の在り方から理想の挙式づくりを提案。

⑤ 日本礼道古流 礼儀作法小笠原流師範

冠婚葬祭でのヘアメイクから着付けまでの専門技術や婚礼の歴史を習得。美容師から日本の文化を継承する活動を実践。

⑥ 美容に関する講演家

専門学校での出前授業をはじめ動画配信などで、「生涯美容の生き方」を発信中。

⑦ 経営コンサルタント (社員教育)

27歳の時に美容室を退社し、美容コンサルティング会社に入社。経営者の側で仕事の取り組み方、人に役立つ人生、生き方を学ぶ。クライアントからの評価も高く社内でもトップコンサルタントとして活躍。

<著書>

結婚式から生まれるしあわせ ブライズルームは聖域 (キャラナビ出版)

<メディア掲載実績>

Fジテレビ、日本テレビ、テレビ朝日などのテレビ業界のみならず、産経新聞やイギリス BBC 放送からまでも取材を受け、長谷川清美自らがテレビ出演。

(例)

名古屋テレビ「反転の光」

関西テレビ「ノックは無用」

テレビ愛知「データで解析!サンデージャーナル」

YouTube「トモダチ TV」 武田邦彦「笑って暮らして医者知らず」でゲスト出演 …等



人生の師と仰ぐ桂由美と長谷川（左）



バックステージの様子



パリコレクションにて



学生に向けての特別講座



YouTubeにて動画配信



モナコ公国 アルベール大公ガラパーティー

◆会社概要

社名： 株式会社マリエ
 代表： 代表取締役 長谷川清美、長谷川秀二
 創業： 1947年7月1日
 設立： 1982年10月1日
 本社所在地： 愛知県名古屋市千種区内山3-31-25 マリエビル
 本部事務所： 愛知県名古屋市中区金山4-1-9 4F
 電話： 052-253-8004
 資本金： 2000万円
 従業員数： 60名
 事業内容： 美容室、ブライダルヘアメイク、着付け(和装全般)、エステ、ネイル、まつげエクステ、
 海外挙式プロデュース、ブライダルプロデュース、ブライダルコーディネート、美容関連商品販売
 URL： <https://marieplus.jp/>
 オンラインショップ： <https://www.marie-webshop.com/>

系列会社 合同会社KIYOMI

<お客様お問い合わせ先>

info@marieplus.jp

電話 052-253-8004

【報道関係者 お問い合わせ先】

マリエ 広報事務局

担当：長谷川（090-4237-3308）

E-mail：info@marieplus.jp TEL：052-253-8004 FAX：052-253-8004